

レジメン名

Ph陽性ALL寛解導入療法

出典 JALSG ALL208

実施部署区分

入院
 外来
 処置

対象疾患

Ph陽性ALL(15歳以上60歳未満)

進行・再発  
補助療法(術前・術後)  
初発  


投与減量の基準

その他			

投与中止の基準

Cr	2.0mg/dL以上		
T-bil	2.0mg/dL以上		
その他			

1クール期間 42日

総クール数 1クール

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
ダウノルピシン(ダウノマイシン)	60mg/m2	輸液100mL	30分	d1-3
ピンクリスチン(オンコピン)	1.3mg/m2 (上限2mg)	輸液100mL	30分	d1、8、15、22
シクロホスファミド(エンドキサン)	1200mg/m2	輸液500mL	3時間	d1
プレドニゾン	60mg/m2	経口		d1-21、その後漸減
イマチニブ	600mg/body	経口		d8-42
メトレキサート(メソトレキセート)	15mg/body	髄注		d29
シタラビン(キロサイド)	40mg/body	髄注		d29
デキサメタゾン	3.3mg/body	髄注		d29

1日投与順 (経時的にプレメタキーション・ポストメタキーション、 溶解液まで含む)
day1 ①グラネセロン3mg/ハック(15-30min) ②ダウノマイシン60mg/m2+輸液100mL(30min) ③オンコピン1.3mg/m2+輸液100mL(30min) ④エンドキサン1200mg/m2+輸液500mL(3hr) ⑤生食50mL(フラッシュ用)
day1-21(その後漸減) ①プレドニン60mg/m2(経口)
day2、3 ①グラネセロン3mg/ハック(15-30min) ②ダウノマイシン60mg/m2+輸液100mL(30min) ③生食50mL(フラッシュ用)
day8、15、22 ①生食50mL(ルート確保用) ②オンコピン1.3mg/m2+輸液100mL(30min) ③生食50mL(フラッシュ用)
day8-42 ①イマチニブ600mg/body(経口)
day29 ①メトレキセート15mg+生食2-6mL(髄注) ②キロサイド40mg(髄注) ③デカドロン3.3mg(髄注)